

## 提出された意見等及び事務局の回答について

**1 佐藤委員**

## (1) 食品ロス削減推進計画（最終案）の体裁について

食品ロス削減推進計画（最終案）7頁の「参考」は、囲みをつける等、計画本文と区別をつけるようにしてください。

**【事務局の回答】**

いただいたご意見のとおり、「参考」の内容を枠で囲みました。ご意見ありがとうございます。

**2 米村委員**

## (1) 食品ロスの問題点と対策の考え方について

食品ロスはどうして問題なのかを理解することで、対策の考え方も異なってくると思われます。

食品ロスが問題なのは、①食品廃棄物の処理量と、②資源としてもったいないということです。

## ①食品廃棄物の処理量

食品廃棄物の量が多いと、収集や処理コストの増加に繋がります。

この問題については、発生源である事業所や個人（家庭）での対策が必要だと思えます。事業所では、計画的に資源を利用することで無駄を減らしたり、自家処理やリサイクルで廃棄量を減らすことが必要だと思えます。

家庭では、食べる量だけを作ったり、調理の工夫で食材の利用率を上げて廃棄量を減らしたり、コンポストやミミズなどで廃棄食品の自家処理を行うことが必要だと思えます。

## ②資源としてもったいない

事業所では、生産、販売製品（商品）の無駄を排除するため、それを可能にするリサイクルなどの仕組み作りや、食品ロス削減のためのマッチングアプリの利用することが必要だと思えます。また、事業所から出る大量の食品廃棄物をリユース、リサイクルすることは、輸入飼料や肥料を減らす効果もあると考えられます。

家庭では、調理の工夫で廃棄量を減らしたり（例えば肉じゃがの残り物でジャガイモのポタージュスープを作る、魚の残り物ででんぶを作るなど）、料理教室などで残り物活用レシピを公開・実践することが必要だと思えます。

**【事務局の回答】**

ご意見ありがとうございます。いただいたご意見のとおり、食品ロスの問題点を把握し、それに基づき対策を考えていくことは大切だと思えます。

事業所に対しては、いただいたご意見について、関係部署に情報共有するとともに、啓発や情報発信を行ってまいります。

ご家庭に対しては、計画の 10 頁に記載しているごみトーク等を今後実施していく中で、いただいたご意見のような工夫やアイデア、取組などについて、啓発や情報発信を行いながら、市民の皆様と一緒に考えてまいります。